

## 独楽回し大会

平成11年1月23日、常陽史料館において外国人のための独楽回し大会が開催されました。これは、日本文化の紹介事業の一つであり、常陽史料館での伝統独楽の展示会の一行事として行われました。



まず、当て独楽など数々の珍しい独楽を収集家の方に見せてもらい、実際にそれがどのように回るのか解説とともに実演してもらいました。そして、いよいよ体験。二つの独楽を自在に操る少年のデ

モンストラクションに、「こんな難しいものができるのか」という不安げな顔も見えましたが、いざ始めてみると思いのほか上手く回すことができ、盛り上がりました。最後に独楽の回っている時間の長さを競うトーナメント大会が行われ、短時間の練習にも関わらず好記録が続出しました。優勝し大独楽を手にしたインドのビジャイ・クマールさんは、「同じように回すおもちゃがインドにもあるので、なつかしかった」とコメントしていました。



独楽と似たおもちゃはインドのほかベトナムや中国など、広く世界中に存在しています。しかし、日本の独楽ほど多種多様に発展し、おもちゃを超えた芸術品になったものはないようです。独楽を通じた外国人との交流によってまたひとつ日常化した日本の伝統の価値に気づくことができました。

Mito  
City  
International  
Festival  
Journal

# 水戸市国際交流協会って どんなところ? 2

## \* どのようサロン

外国人同士の、あるいは日本人との交流の場。日本人にとっても外国人にとっても、ここに来れば話し相手が必ずいる、そんなサロンです。誰でもいつでも気軽に参加することができます。外国人のためにふるさと電話コーナーも設けています。

## \* 市内ウォッチング

日頃水戸市内を見学するチャンスが少ない留学生を中心に、水戸市内の施設を案内しています。実際のところ、学校と自宅の往復だけで留学期間が終わってしまう学生も少なくありません。協会では少しでも多くの外国人に滞在していた街の姿を知ってもらいたいと考えています。



植物公園にて。秋の紅葉の美しさに感嘆の声がでました。

## \* ショートホームステイ

留学生などから希望者を募り、1泊2日のショートホームステイを行ないました。ボランティアの家庭の協力を受け、日本人々が日常どのように生活しているのかを実体験しました。母国と異なる部分、同じ部分、どちらも興味深い体験だったようです。

水戸市国際交流協会では、在住外国人の支援と水戸市民の国際交流活動の支援を行なっています。前号では水戸市民の国際交流活動の支援事業について紹介しました。今回は在住外国人の支援事業について今年実施された事業を中心にご紹介します。

水戸市内には現在約2,400名の外国人が暮らしています。このほか、周辺市町村でも、全人口に対する外国人の割合は増え続けています。最早、外国人は「外国」人ではなく、一隣人なのです。

国際交流協会では、彼らが本当の一隣人となるための手助けを行なっています。

日本で暮らす外国人は長期滞在者ばかりではありません。研修等のため、1年足らずという短い期間の滞在で日本を去ってしまう人々も数多くいます。彼らの思い出作りも、水戸という町を、さらには日本という国を彼らの国に紹介するきっかけとなる大事な事業であると考えています。

## \* 国際交流パーティー（日本文化紹介講座）

前ページで紹介した独楽回し大会のほかに、日本文化の紹介、体験の場としての国際交流パーティーも行なっています。茶道・琴演奏などの伝統芸能は外国人の「日本文化」への興味を満足させるものです。書道では挑戦者が作品を記念に持ち帰る姿が多く見られます。折り紙、けん玉などの伝統的な遊びも人気があります。一方で、日頃披露する機会の少ない母国の文化を、水戸市民向けに紹介する場にもなっています。



小皿に乗せて見事に2段をゲット。けん玉に挑むカナダの青年は着物姿も決まっていました。

## \* 日本料理教室

日本の家庭料理を教える講座です。これまでに鍋物やちらし寿司、天ぷらなどを講師の方に教えていただきました。日本独特の料理の数々は、日本の四季の豊かさそのもの。折々の行事にまつわる話と共に、外国人の食卓を彩ります。



鍋の材料を揃える参加者たち。寄せ鍋は海と山の幸がたっぷり。一つ鍋を突っく日本の食文化に感心することしきりでした。

## \* 情報提供（生活ガイドブック《日英対訳》・英文地図・外国語資料）

生活ガイドブック、水戸の英文地図を作成、希望者に無料配布しています。いずれも水戸、さらには日本での生活に欠かせない情報が満載と、喜ばれています。さらに、国際交流センターの情報コーナーには、日本文化の紹介図書や各地の観光案内なども揃っています。

## \* 日本語教室

協会では外国人支援事業の中でも重要なものと考えています。外国人が日本で円滑に生活するためには、やはり日本語の習得は欠かせません。平成11年3月現在、4つのボランティア団体（オルビス・ソフィア・メサフレンドシップ・ラブニール）が国際交流センターで日本語教室を開いています。教室の開催日など、詳しいことは国際交流センター(Tel. 221-1800)へお問合せ下さい。

国際交流協会では来年度以降も外国人支援の行事を行なっていきます。

これまで、外国人が日本社会に溶け込むのは容易なことではありませんでした。しかし、市民の皆さんの協力があれば、変わっていくはずで。

外国人を本当の隣人に出来るのは市民一人一人の力です。

## 水戸市国際交流協会

### インターネットホームページ開設

水戸市国際交流協会のホームページがいよいよ3月中に開設されます。国際交流協会の事業案内や、水戸市国際交流センターのイベント情報など盛り沢山の内容です。皆さん、ぜひアクセスして下さい。

### どうようサロン

毎月第1、第3土曜日に水戸市国際交流センター2階で開催しています。お茶を飲みながら、世界各国のみなさんとおしゃべりしてみませんか。外国からの皆さんには、3分間無料をご利用いただける国際電話「ふるさとでんわコーナー」などもございます。予約は必要ありません。当日直接会場へおいで下さい。

### 相談受付

相談者は外国人、日本人を問いません。軽微なものから、滞在ビザなどの問題についても秘密厳守で応じています。直接センター事務室へ、またはお電話でどうぞ。

### 生活ガイドブック・英文地図配布

『水戸の生活ガイドブック』、英文版水戸市地図『CITY MAP MITO』が発行されています。緊急時の対応や水戸市内の施設案内など、外国人の水戸での生活に役立つ情報が満載です。希望者には無料で差し上げています。

### メモリアルプレート募集について

これまで国際交流センター開館記念メモリアルプレートには、多くの方々にご協賛いただきました。ありがとうございました。

まだ、余裕がございますので、メモリアルプレートの募集を引き続き行なっております。センター通路に敷き詰める石板と駐車場壁面に貼る陶板の2種類があります。国際交流にこだわらず、好きな言葉を入れて記念に残してみませんか。文字数など詳しいことは協会へお問合せ下さい。

### 水戸市国際交流センターの 利用について

昨年4月のオープン以来、皆様にはたいへん好評にご利用いただいております。国際交流はもとより、一般の会議や料理教室などにご利用いただけます。多目的ホール、研修室のほか調理室や和室もございます。

2階展示コーナーや情報コーナー、交流サロンについてはフリースペースとなっておりますので、ご自由にお入りいただけます。

まだご覧になったことのない皆様には、ぜひ、ご見学いただきたいと思っております。お近くにおいでの際にはお立ち寄り下さい。

ご利用についての詳細は、協会へお気軽にお問い合わせ下さい。

機関紙へのご意見を募集しています。

機関紙のコーナー、特集で取り上げて欲しい記事など、何でもお寄せ下さい。

〒310-0024 水戸市備前町 6-59

(財) 水戸市国際交流協会

TEL 029-221-1800

FAX 029-221-5793

E-mail: mclia@mito.ne.jp

